



# Ovall

## Tour 2020

3/15 sun GUNMA Block ONEMAN SHOW

4/5 sun OSAKA Misono UNIVERSE origami SAI 2020 Osaka  
with Kan Sano mabanua Michael Kaneko Nenashi

4/25 sat FUKUOKA The Voodoo Lounge ONEMAN SHOW

4/26 sun AICHI CLUB UPSET ONEMAN SHOW

5/31 sun TOKYO Shibuya O-EAST origami SAI 2020 Tokyo  
with Kan Sano mabanua Michael Kaneko Nenashi Shingo Sekiguchi and more!



New Album 2019.12.4 OUT OPCA-1042 / OPCA-1043

DISC1

1. Stargazer
2. Transcend feat. Armi (Up Dharma Down)
3. Dark Go!d
4. Come Together
5. Slow Motion Town
6. Triangular Pyramid
7. Paranoia
8. Rush Current
9. Desert Flower

DISC2 限定盤 2枚組

1. Stargazer Rework  
(Prodeced by HIKARU ARATA,  
Vocal by KENTO NAGATSUKA from WONK)
2. Transcend feat. Armi (Up Dharma Down)  
(Kan Sano Remix)
3. Come Together  
(Nenashi Rework)
4. Paranoia  
(Covered by Michael Kaneko)



MIRAI NO WA MONO | JAPANESE FUTURE GROOVE

# 未来 和 氏

## TOWER VINYL



# Ovall

TOWER RECORDS



# Ovall interview

Shingo Suzuki (ベース)、mabanua (ドラムス)、関口シンゴ (ギター) という才能が集まったトリオ、Ovall。4年という短くない活動休止期間を挟んで2017年に復活した彼らから、期待の新作『Ovall』が届けられた。〈良い音とは何か〉を徹底的に追求したという新作では、ジャズ、R&B、ヒップホップなどをミックスした独自のサウンドが研ぎ澄まされ、これまでのオーガニックなグルーヴにフューチャリスティックな色合いが加わったことで、新たなOvallサウンドにして〈Ovallの真骨頂〉を提示。そんな『Ovall』を放った3人が、〈未来ノ和モノ〉というテーマの質問に答えてくれた。

—— 未来や世界のリスナー／ユーザーに向けた新作『Ovall』の聴きどころは？

**Shingo Suzuki** 「インストバンドとしての可能性や自由さを感じてもらえると思います。3人は必要最低限のバンドフォーマットで、その中で作られる音は必然的に面白くなっていく。そして骨太でシンプルに削ぎ落とされたサウンドになってゆく。メンバーのプレイスタイルが如実に現れる。今回のアルバムはそんなサウンドが際立ち、今のOvallの気分が練り込まれた曲集になっています。一人一人のユニークな演奏が合わさってこの3人でしか得ない精円のグルーブを楽しんでもらいたいです」



—— 今後の日本の音楽シーンや世界のシーンの展望について教えてください。

**mabanua** 「個人的には向こう5年を通してエレクトリック全盛なシーンから生楽器の音の割合が少し増えてくるのではと思っています。音数とかは変わらずに。Hip Hopもサンプリングや生音の良さが見直されつつありますよね。あとは日本の音楽シーンの独特さは維持しつつも世界のシーンとのリンクがもう少し進むとさらに面白い未来が待っているのではと思っています。星野源さんの海外アーティストとのコラボはそういう意味でも刺激になります」

—— 日本人の感性や音楽の〈いいな〉と思う部分は？

**関口シンゴ** 「日本人はよく他の文化を取り込むことが上手いと言われるすよね。個人的には、取り込んでから自分の元々持っているものと混ぜ合わせるのが、そのバランス感覚が良いのではないかと思います。もちろん人にもよりますが、いろんなものを吸収して咀嚼した上で、最終的にはちゃんと自分の名札を貼って完成させられた作品が日本のアーティストには多いような印象です。その混ざり方にアーティストの個性や興行きが出るのかなど。自分もそういう面白い音楽を作り続けたいというつもっています」

—— そういったなかで、Ovallとしてどう存在していきたいですか？

**Shingo Suzuki** 「目まぐるしく世の中が変わっていく中で、バンドをいかに続けていくのか。流されず、けれども常に新鮮な気持ちで新たに音を作っていく。自然に、リラックスしながら。そのためには目先のトレンドよりも自らのスタイル、姿勢によるところが大きいと思います。そして今、この瞬間を熱量を持って楽しんでバンドサウンドを出していきたいですね。そんな感覚を聴いてくれる人たちと共有し一緒にやってこの先も過ごしていければ嬉しいです」

Ovall 新作の  
ロング・インタビューは  
[mikiki.tokyo.jp](http://mikiki.tokyo.jp) にて!  
<http://mikiki.tokyo.jp/articles/-/23454>

## Shingo Suzuki's Choice



Michael Kaneko  
『WESTBOUND EP』



さいかいゆう  
『You Are Something』



七尾旅人  
『Stray Dogs』

## mabanua's Choice



starRo  
『MONDAY』



DYGL  
『Say Goodbye to Memory Den』

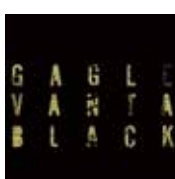
## 関口シンゴ's Choice



ものんくる  
『RELOADING CITY』



STUTS  
『Eutopia』



GAGLE  
『Vanta Black』



ASIAN KUNG-FU GENERATION  
『ホームタウン』



UGIYO  
『Stones』



そのサウンドは、機能性を損なわずに時代を超越する。  
そのサウンドは、新たな機能性を見出だされ時代を超越する。  
20年後、30年後、世界中の音楽ディガーに発見され、興奮し、語り継がれる日本の音楽。  
フロアを揺らす音楽。決して消費される事のない音楽。音楽はタイムマシン。  
盤は回り、そのサウンドは未来へと繋がって行く。

## Ovall 『Ovall』

### 新たなOvallサウンドにして〈Ovallの真骨頂〉

Shingo Suzuki, mabanua、関口シンゴによるトリオバンドOvall。本作はセルフタイトルを冠した渾身のアルバム！先行配信曲「Stargazer」は150万回再生を突破！さらに、日本で共演したフリビンの超人気バンド、Up Dharma Downとのコラボ曲も制作。まさにOvallの〈今〉が詰まった本作は、3人が持ち寄った新たなエッセンスを散りばめながらも、本来の軸はブラさずに、絶妙なバランスで創り上げた9曲を収録。

タワーレコードオリジナル特典:ステッカー 応募抽選付きポストカード  
※Ovall メンバー直筆サイン入り「未来ノ和モノ」ポスター (5名様)

12/4発売



## Editor's Choice

### Kan Sano 『Ghost Notes』

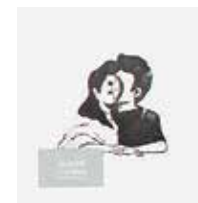


好評発売中

### 鍵盤の魔術師 Kan Sano、次なるムーブメントを指し示した力作

指先で世界を魅了する鍵盤の魔術師 Kan Sanoがキーボードは勿論、ドラム、ベース、ギター、トランペット、ヴォーカル、作詞作曲からミックスまで全てを操る多才ぶりを発揮した意欲作。自身にとって原点復帰となるネオソウルやLo-Fi Hip Hopに、日本人特有のメロディセンスを注ぎ込んだ唯一無二のクリエイション！

### mabanua 『Blurred』



好評発売中

### 自然体ポップスを感じられる1枚

世界中から注目されるドラマー、mabanuaの6年ぶりとなる3rdアルバム。ロングセラーを記録した前2作に続き、あらゆる楽器を全て1人で演奏、そしてヴォーカル、ミックスまでも自ら完結させるというスタイルで完成。自身初となる日本語詞での歌に加え、作詞に後藤正文 (ASIAN KUNG-FU GENERATION)、feat.に Chara, Achico(Ropes)を迎えたコラボ楽曲も聴きどころ◎

### CRCK/LCKS 『Temporary』

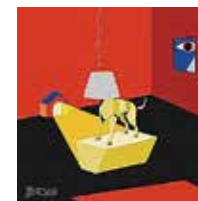


好評発売中

### 結成4年にしてついに放たれた1stフルアルバム

小西遼、小田朋美、石若駿、越智俊介、井上銘、メンバーそれぞれがソロ活動や他アーティストのサポートなど多岐に渡って活躍し、彼ら無くて現在のJ-POPシーンは語れないバンドCRCK/LCKSの1stフルアルバム。オリジナリティを確立させたサウンドと独自の方法论で活動を拡大し国内音楽シーンにリーチする唯一無二のポップスバンドの集大成！

### TENDRE 『IN SIGHT』



好評発売中

### モダンなテクスチャー、非凡なセンスに満ち溢れた新作EP

ベース、ギター、鍵盤にサクソフとマルチに演奏をこなすミュージシャン河原太郎のソロ・プロジェクトTENDREの新作EP。リード曲「VARIETY」や、スポンサードアルバム・TevaとコラボレーションしVIDEOTAPEMUSICがMVを手掛けた「SIGN」、HondaのキャンペーンCMに起用された「ANYWAY」など全6曲収録。

### 藤原さくら 『red』



好評発売中

### Ovallの3人が深く関わる藤原さくらの3rd EP

作詞作曲を自身が手がけ、サウンドプロデュースにmabanua (Ovall)を迎えた3rd EP。劇場版アニメ「若おかみは小学生!」主題歌「また明日」や、同作品のテレビアニメ版主題歌になっている「NEW DAY」を含む全6曲を収録。

### NABOWA 『DUSK』



好評発売中

### 叙情的なメロディを堪能できる作品

NABOWAの持つ雄大なメロディとポストロック・サウンドを見事に融合した「DUSK」や、50年代の西海岸サーフポットにトリップしたかのような景色が浮かぶ、ヴィブラフォンを多用した迫力のラテンジャズ「PARK ON MARS」、コズミックなフュージョン曲「JOE」、パーカッションを多用したNABOWA風のルーテレグ「TE」など全10曲を収録。